
平成28年度
五所川原市民討議会 報告書



平成28年度 五所川原市民討議会実行委員会

目次

● 市民討議会の概要 1
・事業概要	
・タイムスケジュール	
・話し合いのルール	
● 市民討議会の目的・手法 4
・市民討議会の目的	
・市民討議会の手法	
● 討議の進め方と論点（ねらい） 6
・全体テーマ	
・テーマ1～テーマ3	
● 討議シート 8
・テーマ1～テーマ3（提言）	
● 市民討議会資料編 25
・実行委員会規則	
・参加者案内通知	
・参加者アンケート結果	
・広報記事	
・コーディネータープロフィール	

市民討議会の概要

■ 事業概要 ■

- 事業名 平成28年度 五所川原市民討議会
- 運営形態 五所川原市 ・ 公益社団法人 五所川原青年会議所 共催
- 開催期日 平成28年7月23日(土)
14時～17時30分
- 開催場所 五所川原市民学習情報センター
- 参加者 26人
- 参加者選出 住民基本台帳から無作為に抽出した1,500名の市民へ参加案内を送付し、53名の応募がありました。厳正なる抽選の結果35名を参加者と決定し参加依頼を送付しました。
- 討議テーマ 「子どもからお年寄りまで生き生きと暮らせる
五所川原を考えよう」
- 小テーマ
 - 【テーマ1】：各世代が知りたいこと・教えられることを考える
 - 【テーマ2-1】：子どもと大人が世代を超えて一緒にできそうなもの
を考える
 - 【テーマ2-2】：子どもと大人が世代を超えて一緒にできそうなもの
を考える(企画)
- 情報提供 世代交流の形(どんな世代交流があるか)
- 討議進行 【小人数のワークショップ形式によるグループ討議】
 - ①参加者を討議グループ(1グループ5人、計5グループ)に分け、進行は実行委員会のファシリテーターが務めました。
 - ②討議グループごとに小テーマに関するグループディスカッションを行い、グループとしての意見を集約しました。
 - ③グループで集約した意見を発表しました。
- 実施報告 討議結果は報告書にまとめ提言として市長に提出します。

■平成28年度五所川原市民討議会プログラム■

平成28年7月23日（土）

五所川原市民学習情報センター

TIME	内容
13:30～	受付開始
14:00～	開会
14:05～	コーディネーター紹介
14:12～	市民討議 テーマ1 『各世代の知りたいこと・教えられることを考える』
14:53～	休憩
15:04～	市民討議 テーマ2-1 『子どもと大人が世代を超えて一緒にできそうなものを考える』
15:50～	市民討議 テーマ2-2 『子どもと大人が世代を超えて一緒にできそうなものを考える』（企画）
16:31～	グループ発表
16:56～	まとめ
17:06～	閉会
閉会后	参加者アンケート 随時解散

■ 話し合いのルール・意見の出し方 ■

討議に先立ち、総合コーディネーターより、話し合いのルール及び意見の出し方について説明を行いました。

各テーブルでは、ファシリテーターが、討議がスムーズに進むよう、付箋の使い方や話し合いの進め方などについてのサポートを行いました。

話し合いのルール

- ① 自分だけ話さない
- ② 頭から否定しない。
質問として聞く。
- ③ 人の意見を最後まで聞く。
- ④ 楽しい雰囲気大切に。

市民討議会の目的・手法

■ 市民討議会の目的 ■

今回の市民討議会の目的は、自治意識の向上と自治の担い手の育成としました。このディスカッションを通じ、市民がよりよいくらいの為に何を求め、どう行動しようとしているのかという本音を引き出すとともに、そのような場を提供することで、市民参加者が今まで以上に、この地域に興味を持ち、自らが主体的に行動することの重要さを認識していただくという市民意識の変革を期待するねらいが込められています。

■ 市民討議会の手法 ■

～プラーヌクスツェレとの比較で～

今回の市民討議会は、ドイツの市民参加の手法である「プラーヌクスツェレ（注）」に学びながらも、独自に地域に見合った形に再構成し、実施するにあたり、様々な創意工夫を行いました。その特徴は次の通りです。

1. 運営組織＝実行委員会形式

五所川原市と公益社団法人五所川原青年会議所の共催事業として開催し、開催準備から当日の運営を両者からなる実行委員会が担当しました。実行委員会は、計8人で構成され、5月16日の初会合から7月23日の開催日まで、延べ5回開催されました。

実行委員会では、常に当日参加する市民参加者の立場に立った議論を心がけてきました。また、自由な意見交換と立場を超えた実行委員としての公平性を基本として、「提案・討議・検証・改善」を何度も繰り返しながら進められ、終盤では、当日の初参加の市民を想定して、実際にワークショップを行いました。

2. 住民基本台帳による完全無作為抽出

市民討議会への参加の呼びかけは、18歳以上の市民を対象に住民基本台帳～無作為抽出を行い、1,500名に参加依頼書を送付しました。一定地域に偏らないよう旧市町村単位の人口比率を加味したことで、より地域の構成要素に沿った抽出となりました。締め切り日までに送られてきた参加承諾書は、53名でした。

なお、個人情報保護の観点から抽出は五所川原市が、発送・集計作業は実行委員会で担当しました。

3. 話し合いの方法

話し合いは、プランクツェレとほぼ同様の手法で行われました。その特徴の1点目は、1グループ約5人単位で全5グループが同時に話し合いを進めたことです。少人数での話し合いでは、グループないすべての人が発言する機会があります。2点目は、各グループにより発表が行われ、全体の意見の傾向を見ることと、参加者全体の意見の共有に努めたことです。

4. コーディネーターによる先導

話し合いにおいて、スムーズな進行とテーマから逸脱しないように有識者であり、経験豊富な弘前大学大学院地域社会研究科の准教授、平井太郎様にコーディネーターとして全体の総括を行っていただきました。

(注)：解説：プランクツェレとは・・・

プランクツェレ（独：Planungszelle：計画細胞）は、ペーター・Cディネールドイツ・ヴパタル大学名誉教授により1970年代に考案された市民参加の手法です。

ドイツでは、1990年のドイツ統一後、地方公共団体において住民投票制度が導入されていたことに伴い、直接民主主義に対する認識が高まりました。このような潮流の中で、市民参加の手法の1つとしてプランクツェレが注目されました。現在はスペインやオランダなどでも取り組みがなされています。他の市民参加の手法に比べてコストがかかる点と開催の準備や最終報告に時間がかかる点に問題があるものの、サイレントマジョリティと呼ばれる一般の市民の声なき声を抽出する方法としてきわめて有効であると評価されています。

★定義

『プランクツェレは、無作為抽出で選ばれ、限られた期間、有償で、日々の労働から解放され、進行役のアシストを受けつつ、事前に与えられた解決可能な計画に関する課題に取り組む市民グループである』～「プランクツェレ(ディネール教授 著)」より～

★主な特徴（ドイツ型）

- 1 話し合いへの参加者を無作為抽出で選ぶ。
- 2 参加者に謝礼を払う。
- 3 参加者だけで話し合いを行い、全体で投票を行う。
- 4 各話し合いの前に現状や課題などの情報提供を行う。
- 5 まとまった結果を市民答申として公表する。

討議の進め方と論点（ねらい）

◆全体テーマ

「子供からお年寄りまで生き活きと暮らせる五所川原を考えよう！
～世代を超えた絆を深めるために～」

◇ねらい：超高齢社会の突入し、市においても人口が減少傾向にあります。このことから昨年は、人口減少対策をテーマとし、討議が行われました。その中で、地域内の人のつながりや、地元の魅力、地域への愛着といったものを大切にしていこうべきという意見が多く出されました。このことから、今年度は、日常生活において、地域のコミュニティを大切に、生き活きと暮らしていく為に、みんなで何が出来るかを考える為に市民討議会を行います。コミュニティに属し生き活きと暮らすため「世代間交流」に重きを置き、討議をしてもらい、世代間交流を拡大していく為に、大切なコトをみんなで考えていただきます。

○テーマ1

「各世代が知りたい事・教えられることを考える」

◇ねらい：各世代の知りたいこと・教えられることといった関心事項を出してもらおう。自身がその年代だったときの過去の経験に基づいたり、知人（親、親類）の現状等を基に自分が経験したことのない年代の興味、自分が他者に教えられることを考えることで、自分の世代、他の世代における関心事項をイメージしてもらおうとともに、情報を共有する。
知りたいこと・教えられることといったポジティブな方向で世代を超えた共通項を表出させ、この後の討議小テーマに繋がる世代間交流のきっかけとなる事項を探していく。

◇情報提供：事業化を考えるための情報

○テーマ2-1

「子供と大人が世代を超えて一緒にできそうなものを考える」

◆論点：討議1で表出したもので世代間交流となるものを探す。

◇ねらい：討議1の世代を超えて交流できそうなもの、意見同士をコラボさせることで世代間交流の効果増進が図れそうなものを探る。また、討議2-2での事業化を意識しつつ行う。

◇情報提供：世代間交流の事例について平井先生の方から情報提供を頂く

○テーマ2-2

「子供と大人が世代を超えて一緒にできそうなものを考える」（企画）

◆論点：討議2-1で出た意見のうち具体化できそうなものを優先的に事業化を行う。

◇ねらい：討議2-1で出た意見の中から目的、取組、ターゲットを想定しながら事業化を考える。その際には「市民」、（「既存の市民団体」）、「行政」の主体別の役割を考えながら「協働」の事業化を目指す。一連の作業を進める中で、最終目的と事業展開の関係が明らかになり、さらに「市民」と「行政」の役割分担（行動）の具体例から「協働とは双方に役割が発生すること」を認識し、実践への意欲の醸成が図られることをねらいとする。既存の市民団体も想定することで事業の持続可能性の方向も模索する。

◇情報提供1

前提：世代間交流の形（どんな世代交流があるか）

- 世代間交流がうまくいかない理由 → お互いの興味が合致しない → 合致させるための討議（大人は経験を活かす、子供は知識を手に入れる）
- 討議のゴールの説明

◇情報提供2

世代間交流事業の事例提供

討議シート

チーム名：スイーツバルガンバル実行委員会 ファシリテーター：高松 一 政

討議テーマ1 「各世代が知りたいこと・教えられることを考える」

★各世代の知りたいこと・教えられることといった関心事項を出してもらおう。

知りたいこと

アイデア

- ゆとり世代について
- 十代の一番興味があること
- 五所川原の隠れた魅力
- 思い出話
- 野菜が安く買える場所
- 有名なお店
- おしゃれなカフェ（隠れ家的なもの）
- 郷土料理の歴史や作り方
- 漬物の作り方
- いい雰囲気のある場所

教えられること

アイデア

- 恋愛話
- スポーツ
- 書道
- 相撲について
- よさこい
- 食べ物の栄養、健康
- 家事
- 電車、バスの乗り方

討議テーマ2-1 「各世代が知りたいこと・教えられることを考える」

★討議1で表出したもので世代間交流となるものを探る。（ジャンル別に分ける）意見同士をコラボさせることで効果増進が図れそうなものを探る。

知りたいこと

ジャンル	アイデア
知識・経験	・電車、バスの乗り方
交流	・十代の一番興味があること
お気に入りの場所	・野菜が安く買える場所 ・有名なお店 ・おしゃれなカフェ（隠れ家的なもの） ・いい雰囲気のところ
食文化	・郷土料理の歴史や作り方 ・漬物の作り方

教えられること

ジャンル	アイデア
スポーツ	・スポーツ ・書道 ・相撲について ・ダーツ ・スノーボード ・よさこい
食文化	・食べ物の栄養、健康 ・家事

討議テーマ2-2 「各世代が知りたいこと・教えられることを考える」(企画)
 ★討議2-1で出た意見の中から目的・取り組み、ターゲットを想定しながら事業化を考える。

ジャンル	アイディア	事業名
お気に入り の場所	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜が安く買える場所 ・有名なお店 ・おしゃれなカフェ (隠れ家的なもの) ・いい雰囲気の良い場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・スイーツづくり ・農業祭 (JA・市・五農と合同) ・五所バル ・駅舎カフェ ・スイーツバル

企 画

1	チーム名	スイーツバルガンバル実行委員会
2	企画名	スイーツバル
3	いつ	11月
4	どこで	五所川原駅から金木芦野公園
5	内容	駅周辺に出店し、津鉄で五所川原から芦野公園を行き来しながら楽しむ、スイーツ限定のバル。津鉄内でもスイーツ提供。
6	協力者	<ul style="list-style-type: none"> ①学生 ②市民 ③津鉄
7	効果	世代をスイーツがつなぐ。

チーム名：チームすくめ

ファシリテーター：外 崎 紳

討議テーマ1 「各世代が知りたいこと・教えられることを考える」

★各世代の知りたいこと・教えられることといった関心事項を出してもらおう。

知りたいこと

アイデア

- ・今までの世代間交流でどんな事を
- ・一人暮らしをする上での注意点
- ・簡単に作れる料理
- ・津軽の郷土料理
- ・災害時の危険なところ
- ・若い人はどこで遊んでいるのか
- ・学生の進学と五所川原から出る、残る理由
- ・戦争のこと
- ・選挙について
- ・大町開発などの予算
- ・観光集客対策
- ・泊るところ
- ・市内のマップ
- ・お買い物術
- ・お金の使い方
- ・子育てのノウハウ
- ・昔の経験
- ・ボウリング
- ・バスケット
- ・若い人たちはどのくらい市や県を離れているのか
- ・雇用対策

教えられること

アイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・小学生への勉強の教え方 ・ゴミ分別 ・地域の特産品について ・お買い物術 ・お金の使い方 ・子育てのノウハウ ・昔の経験 ・ボウリング ・バスケット ・剣道 ・ガーデニング ・書道

討議テーマ2-1 「各世代が知りたいこと・教えられることを考える」

★討議1で表出したもので世代間交流となるものを探す。（ジャンル別に分ける）意見同士をコラボさせることで効果増進が図れそうなものを探る。

知りたいこと

ジャンル	アイデア
若い人の 気持ち	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人はどこで遊んでいるのか ・学生の進学と五所川原から出る、残る理由 ・若い人たちはどのくらい市や県を離れているのか ・雇用対策
生活の知恵	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしをする上での注意点 ・簡単に作れる料理 ・津軽の郷土料理 ・災害時の危険なところ
経験	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争のこと ・選挙について

観 光	<ul style="list-style-type: none"> ・観光集客対策 ・泊るところ ・市内のマップ
行 政	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙について

教えられること

ジャンル	アイデア
生活の知恵	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生への勉強の教え方 ・ゴミ分別 ・地域の特産品について ・お買い物術 ・お金の使い方 ・子育てのノウハウ
経 験	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の経験
趣 味	<ul style="list-style-type: none"> ・ボウリング ・バスケット ・剣道 ・ガーデニング ・書道

討議テーマ2-2 「各世代が知りたいこと・教えられることを考える」(企画)
 ★討議2-1で出た意見の中から目的・取り組み、ターゲットを想定しながら事業化を考える。

ジャンル	アイデア	事業名
生活の知恵	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしをする上での注意点 簡単に作れる料理 津軽の郷土料理 災害時の危険なところ 小学生への勉強の教え方 ゴミ分別 地域の特産品について お買い物術 お金の使い方 子育てのノウハウ 	<ul style="list-style-type: none"> 津軽のかまりっこのする料理 料理の販売 食材を採るところから始まる料理教室
観光	<ul style="list-style-type: none"> 観光集客対策 泊るところ 市内のマップ 	<ul style="list-style-type: none"> 昔話を津軽弁でする案内所

企 画

1	チーム名	チームすくめ
2	企画名	津軽のかまりっこ
3	いつ	11月
4	どこで	中山山脈～中央公民館（金木地区、嘉瀬、飯詰）
5	内容	<ul style="list-style-type: none"> 山と一緒に食材を採りレシピを参考に料理体験をする。 津軽弁を交えて仲良く食べて交流する。
6	協力者	<ul style="list-style-type: none"> ①山に詳しい人 ②料理が得意な人 ③レシピ本を作る人、FMごしょがわら
7	効果	ここにしかない津軽の「味」を知り、習得することができる。

チーム名：チームたいち

ファシリテーター：境 谷 幸 人

討議テーマ1 「各世代が知りたいこと・教えられることを考える」

★各世代の知りたいこと・教えられることといった関心事項を出してもらおう。

知りたいこと

アイデア

- 雪をどのように利用すればよいか
- 昔のエルムの場所はどんな感じだったか
- 昔はどこで遊んでいたのか
- 子どもの悩み
- 勉強する施設は図書館のほかにはないのか
- 安定した老後を送るには
- 役に立っている資格は何か
- 若者はどんな場所で遊んでいるのか

教えられること

アイデア

- 小さい子供との遊び方
- 仕事の為に取得した資格について
- 吉幾三、立佞武多踊り
- 知恵
- 介護関係
- 建設業の話

討議テーマ2-1 「各世代が知りたいこと・教えられることを考える」

★討議1で表出したもので世代間交流となるものを探す。（ジャンル別に分ける）意見同士をコラボさせることで効果増進が図れそうなものを探る。

知りたいこと

ジャンル	アイデア
雪	・雪をどのように利用すればよいか
遊び	・昔のエルムの場所はどんな感じだったか ・昔はどこで遊んでいたのか
知恵	・子どもの悩み ・勉強する施設は図書館のほかにはないのか
生き方設計	・安定した老後を送るには ・役に立っている資格は何か
場	・昔はどこで遊んでいたのか

教えられること

ジャンル	アイデア
遊び	・小さい子供との遊び方
リアルキャリア	・建設業の話
祭り	・吉幾三、立佞武多踊り ・リオオリンピックで楽しみにしている競技

討議テーマ2-2 「各世代が知りたいこと・教えられることを考える」(企画)
 ★討議2-1で出た意見の中から目的・取り組み、ターゲットを想定しながら事業化を考える。

ジャンル	アイデア	事業名
雪	・雪をどのように利用したらいいか	<ul style="list-style-type: none"> ・スピードスケート ・滑り台 ・河原で運動会 ・雪中SASUKE ・かまくら ・スタンプラリー
雪	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した老後を送るには ・役に立っている資格は何か 	

企 画

1	チーム名	チームたいち
2	企画名	かまくらスタンプラリー
3	いつ	11月末
4	どこで	五所川原商店街
5	内容	若い人からお年寄りまで手を取り合い、各かまくらに隠された謎を解きながらゴールを目指す。 ゴール後は明で温かいものを食す。下位者は冷たいものを食す
6	協力者	①市民 ②商店街 ③参加者
7	効果	世代間を超えて交流を深めながら、クイズ内容を五所川原の歴史・若年層向けのものにし、皆が協力し合いながらゴールを目指すことで、雪を楽しめる。

チーム名：チームポケモン

ファシリテーター：関 拓 人

討議テーマ1 「各世代が知りたいこと・教えられることを考える」

★各世代の知りたいこと・教えられることといった関心事項を出してもらおう。

知りたいこと

アイデア

- 簡単に作れる料理
- 五所川原の無料の温泉
- 赤ちゃんの喜ぶ遊び
- トイプードルのしつけ
- 山菜の採り方
- ポケモンGO
- スマホの簡単な使い方

教えられること

アイデア

- おいしいコーヒーの作り方
- よさこい
- 布地で作るもの
- バックの作り方
- 山菜の採り方
- スマホの使い方

討議テーマ2-1 「各世代が知りたいこと・教えられることを考える」

★討議1で表出したもので世代間交流となるものを探す。（ジャンル別に分ける）意見同士をコラボさせることで効果増進が図れそうなものを探る。

知りたいこと

ジャンル	アイデア
料理	・簡単に作れる料理
子育て	・赤ちゃんの喜ぶ遊び
動物	・トイプードルのしつけ
自然	・山菜の採り方
ポケモン	・ポケモンGO ・スマホの簡単な使い方

教えられること

ジャンル	アイデア
料理	・おいしいコーヒーの作り方
趣味	・よさこい ・布地で作るもの ・バックの作り方
自然	・山菜の採り方
ポケモン	・スマホの使い方

討議テーマ2-2 「各世代が知りたいこと・教えられることを考える」(企画)
 ★討議2-1で出た意見の中から目的・取り組み、ターゲットを想定しながら事業化を考える。

ジャンル	アイデア	事業名
料理・子育て	<ul style="list-style-type: none"> 簡単に作れる料理 おいしいコーヒーの作り方 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て&料理 年配の人しか知らない料理教室
動物・自然	<ul style="list-style-type: none"> トイプードルのしつけ 山菜の採り方 	<ul style="list-style-type: none"> ペットや子供を連れて山菜取り 山菜&料理
ポケモン	<ul style="list-style-type: none"> ポケモンGO スマホの簡単な使い方 スマホの使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ポケモンで子育て

企 画

1	チーム名	チームポケモン
2	企画名	みんなで山菜GO
3	いつ	11月
4	どこで	自然の中で
5	内 容	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな世代と一緒に山菜をとりに行き、自然の中でおいしい旬な山菜、安全な採り方を教えながら山菜採り。 年上の経験に基づいた料理のコツを教えながら。 ちょっとおしゃれな若者好きそうな料理を一緒に考える。
6	協 力 者	①すべての世代が負担なく楽しく交流できる ②山菜採りを兼ねてレアなポケモンもとる。 (子供を飽きさせない) 子どもがポケモンを教えてくれる。 ③イタリアンやフレンチとかおしゃれな料理と一緒に山菜を使って作ることで、若者は興味を持つ。
7	効 果	自然の中で良い気持ちになれる。

チーム名：古き良き五所川原制作委員会 ファシリテーター：佐々木 邦 和

討議テーマ1 「各世代が知りたいこと・教えられることを考える」

★各世代の知りたいこと・教えられることといった関心事項を出してもらおう。

知りたいこと

アイデア

- 五所川原の歴史
- 津軽弁
- おいしい漬物の作り方
- 農業のこと
- 編み物
- 雪のこと（心得）
- 五所川原のおいしいもの
- 五所川原の良いところ（場所）
- 行政が若者の定住増加の為に行政の行っていることとその結果
- 長距離走のコツ

教えられること

アイデア

- コンクリートのこと
- 介護のこと
- 歯の磨き方
- 虫と火まつりの歴史
- ナスのしそ巻きの作り方
- パソコンの使い方
- デッサン、絵画など
- ももクロのこと
- 子育て関係（読み聞かせ）

討議テーマ2-1 「各世代が知りたいこと・教えられることを考える」

★討議1で表出したもので世代間交流となるものを探る。（ジャンル別に分ける）意見同士をコラボさせることで効果増進が図れそうなものを探る。

知りたいこと

ジャンル	アイデア
行政	・行政が若者の定住増加の為に行政の行っていることその結果
五所川原の文化	・五所川原の歴史 ・津軽弁
趣味	・おいしい漬物の作り方 ・農業のこと ・編み物 ・長距離走のコツ
雪	・雪のこと（心得）
食・場所	・五所川原の美味しいもの、場所

教えられること

ジャンル	アイデア
職業	・コンクリートのこと ・介護のこと ・歯の磨き方
趣味	・ナスのしそ巻きの作り方 ・パソコンの使い方 ・デッサン、絵画など ・ももクロのこと
雪	・子育て関係（読み聞かせ）
文化	・虫と火まつりの歴史

討議テーマ2-2 「各世代が知りたいこと・教えられることを考える」(企画)

★討議2-1で出た意見の中から目的・取り組み、ターゲットを想定しながら事業化を考える。

ジャンル	アイデア	事業名
行政	・行政が若者の定住増加の為に行政の行っていることその結果	
動物・自然	・五所川原の歴史 ・津軽弁	・五所川原歴史講座 ・立佞武多囃子講座 ・津軽弁昔語り (昔の人の暮らしを学ぶ)
趣味	・おいしい漬物の作り方 ・農業のこと ・編み物 ・長距離走のコツ	・郷土料理の料理教室 ・パソコン、ネットを世代を超えて学ぶ
雪	・雪のこと(心得)	・冬のズグリ大会
食・場所	・五所川原の美味しいもの、場所	・餅つき大会

企 画

1	チーム名	古き良き五所川原制作委員会
2	企画名	ごしょがわらでGO
3	いつ	11月
4	どこで	立佞武多の館
5	内容	①立佞武多囃子講座 ②郷土料理体験(家族体験) ③津軽弁昔語り ④館見学
6	協力者	①祭り関係者、囃子団体 ②中野さんと仲間たち ③津軽弁に詳しい人 ④立佞武多の館
7	効果	・郷土愛が生まれる(五所川原の魅力を知ることで) ・世代間交流ができる→仲間作りの場→次のきっかけづくり

市民討議会 資料編

平成28年度 五所川原市民討議会実行委員会会則

(名称)

第1条 本会は、平成28年度五所川原市民討議会実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、平成28年度五所川原市民討議会（以下「市民討議会」という。）を円滑に実施することを目的とする。

(所掌事務)

第3条 実行委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 平成28年度五所川原市民討議会実行委員会会則（以下「会則」という。）の制定及び改廃に関すること。
- (2) 事業計画及び事業報告に関すること。
- (3) 予算及び決算に関すること。
- (4) 市民討議会の実施に関すること。
- (5) 市民討議会の成果及びその手法の効果の検証・評価に関すること。
- (6) 市民討議会の実施状況の公開に関すること。

(組織)

第4条 委員は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 公益社団法人五所川原青年会議所会員
- (2) 五所川原市職員
- (3) 前2号に掲げるもののほか、実行委員会委員長が特に必要と認める者

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、平成29年3月31日までとする。

2 補欠により就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第6条 実行委員会に、次に掲げる役員を置く。

(1) 委員長 1名

(2) 副委員長 若干名

(3) 書記・会計 若干名

(4) 監事 2名

2 役員は委員の互選により選出する。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が職務を行うことができない場合は、その職務を代理する。

(会議)

第7条 実行委員会の総会及びその他会議は、委員長が召集する。

2 実行委員会の総会は、第3条第1号から第3号までの規定に関して審議し、決定する。

3 実行委員会のその他会議は、第3条第4号から第6号までの規定に関して協議及び検討する。

4 実行委員会の総会及びその他会議等の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務局)

第8条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(経費)

第9条 実行委員会の経費は、補助金その他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第10条 実行委員会の収支予算については、総会の議決により定め、収支決算については、事業終了後、速やかに監事の監査を経て総会の認定に付さなければならない。

(会計年度等)

第11条 実行委員会の会計年度は、この会則の施行日から始まり、平成29年3月31日に終わる。

(解散)

第12条 実行委員会は、その目的が達成された時に解散する。

(その他)

第13条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

附 則

この会則は、平成28年5月16日から施行する。

■参加者案内通知■

平成28年6月吉日

市民の皆様へ

五所川原市長

平山 誠敏



公益社団法人
理事長

五所川原青年会議所
今 一憲

「五所川原市民討議会」への参加のお願い

初夏の候、ますますご清栄のことと存じます。

この度、五所川原市と公益社団法人五所川原青年会議所は、「五所川原市民討議会」を協働で開催することといたしました（広報ごしょがわら6月号や別紙に詳しい内容が掲載されていますのでご参照ください。）。

市民討議会は、さまざまな市民の皆様から、幅広い意見を出し合っていただき、五所川原市をより良いものにするために話し合いをする取り組みです。

この市民討議会への「参加のお願い」は、18歳以上のすべての市民の中から1,500名を無作為抽出し、送付させていただいています。

つきましては、貴方様が無作為抽出により選出されましたので、趣旨をご理解のうえ、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

記

- | | |
|-----------|--|
| 1 日 時 | 平成28年7月23日（土）14時00分～17時30分 |
| 2 場 所 | 五所川原市民学習情報センター
（住所：五所川原市字一ツ谷503番地5） |
| 3 討議会のテーマ | 子どもからお年寄りまで生き生きと暮らせる五所川原を考えよう
～世代を超えた絆を深めるために～ |
| 4 謝 礼 | 3,000円 |
| 5 参加定員 | 30名程度 |
| 6 進め方 | 参加者がいくつかのグループに分かれ、テーマに沿った意見を出し合ってください、グループごとにまとめていただきます。グループ内の討議が円滑に進むよう各グループにサポート役のファシリテーターが配置されます。 |

- 7 回答方法
- (1) ご参加いただける場合
 お手数ですが、別紙の承諾書に必要事項をご記入のうえ、同封の返信用封筒により、平成28年6月20日までにご返送ください。
- (2) 不参加の場合
 お手数ですが、別紙アンケート用紙にご記入いただき、同封の返信用封筒により、平成28年6月20日までにご返送ください。
- 8 参加者の決定 参加の申込みが多数となった場合は、申し訳ありませんが、抽選とさせていただきます。
- 9 その他
- 託児サービスなど
 参加を承諾される方で、託児を希望する場合は、事前にご連絡ください（対象1歳から未就学児まで）。
 - そのほか、ご不明な点がございましたら、下記事務局までお問い合わせください。



ひじりん®

【問い合わせ先】

五所川原市民討議会実行委員会事務局
 （公益社団法人五所川原青年会議所内）
 〒037-0052 五所川原市字東町17-5 商工会館
 TEL：0173-35-4049
 （10：00～17：00、土日祝を除く）
 FAX：0173-35-4044

五所川原市財政部企画課
 〒037-8686 五所川原市字岩木町12
 TEL：0173-35-2111 内線2152～2154
 FAX：0173-35-3617

■各種アンケート■

参加者アンケート集計結果

回答数 25名

(質問 1) 本日、この市民討議会に参加された動機はなんですか？

- | | | |
|---|-------------------|-----|
| 1 | おもしろそうだったから…………… | 20名 |
| 2 | テーマなどにひかれたから…………… | 2名 |
| 3 | 報酬が魅力的だったから…………… | 0名 |
| 4 | その他…………… | 3名 |
- ・自分の考え方を広げればなーと思ったため。
 - ・選ばれたと手紙が来たのでなんとなく。
 - ・世代間を越えた交流がしたかった。

(質問 2-1) 市民討議会の時間的な長さはいかがでしたか。

- | | | |
|---|-------------|-----|
| 1 | 長い…………… | 1名 |
| 2 | ちょうど良い…………… | 23名 |
| 3 | 短い…………… | 1名 |

(質問 2-2) 「長い」あるいは「短い」とお答えになった方におたずねします。
ちょうど良い時間はどのくらいでしょうか。

()時間くらい。

- | | |
|------------|----|
| 2～3時間…………… | 1名 |
| 3時間…………… | 1名 |
| 5時間…………… | 1名 |

(質問 2-3) 市民討議会を開催する曜日と時間帯についてはいかがでしたか。

曜日について ……	1 週末が良い……………	14名
	2 平日が良い……………	0名
	3 どちらでも良い……………	11名
時間帯について ……	1 日中が良い……………	15名
	2 夜が良い……………	1名
	3 どちらでも良い……………	8名
	無回答……………	1名

(質問 3) 市民討議会の報酬の額についてはいかがでしたか。

1	ちょうど良い……………	13名
2	ちょうど良い額だと思わない……………	1名
	適切な額は(5,000)円……………	1名
3	報酬は必要ない……………	5名
4	現金以外の報酬にすべきである……………	2名
	具体的に …… 別になくていい。昼弁当でよい。 ……	1名
	無回答……………	1名
	無回答……………	5名

(質問 4-1) 市民討議会の小テーマは、討議を進める上で適切でしたか。

1	適切だった……………	20名
2	適切ではなかった……………	0名
	無回答……………	5名

(質問 4-2) 「適切ではなかった」とお答えになった方は理由をお書きください。

理由……………	0名
---------	----

(質問 5) 討議グループについて、1グループの人数はいかがでしたか。

- | | |
|----------|-----|
| 1 多い | 0名 |
| 2 ちょうど良い | 17名 |
| 3 少ない | 3名 |
| 無回答 | 5名 |

(質問 6) 討議では自分の意見をきちんと言うことができましたか。

- | | |
|--------------|-----|
| 1 言えた | 8名 |
| 2 まあまあ言えた | 11名 |
| 3 ほとんど言えなかった | 1名 |
| 無回答 | 5名 |

(質問 7) 参加されての充実感をお尋ねいたします。

- | | |
|-------------|-----|
| 1 充実していた | 18名 |
| 2 充実していなかった | 0名 |
| 3 どちらでもない | 2名 |
| 無回答 | 5名 |

(質問 8) 討議していく中で、「世代を超えた人と人とのつながり」についての考えに変化はありましたか。

- | | |
|-------------------------|-----|
| 1 自分の考えが参加前とくらべて大きく変わった | 11名 |
|-------------------------|-----|

理由… いろいろな世代の意見が聞ける。

… いろいろな意見を聞くことで内容が広がった。

… そんなに、変化はないのですが、商工会の人たちが一生懸命、町作りを考えることに感心しました。

… 生まれた五所川原を平和にしたいと思う気持ちが強くなった。

… 色々な人の意見が聞いてよかった。

… たくさんの人の意見が聞けたから。

… へー、そういう見方・考え方もあるんだと感じたから。

- … 世代が違って一緒にできることはたくさんあることを知った。
- … 色々な意見を聞くことができたから。
- … 色々な年代の方と話ができて、よかったです。
- … 若い人から見た考え方を理解できた。

2 どちらかという変わった…………… 9名

- 理由… みんなが考えていることが似ていたから。
- … 大切なものであることは認識していたため。
 - … 大きく変化はしなかったが世代を超えた人々の話しが出来良かった。
 - … むずかしいと感じた。
 - … いろいろな機会をとらえて地域のイベントなどに積極的に参加して交流していきたいと思っていたので。
 - … いろいろな意見が聞けて良かった。
 - … 無回答…………… 3名

無回答…………… 5名

(質問 9) 討議を通して、事業につながるアイデアが明らかになったと思われませんが、その事業に参加したいと思いませんか。

- 1 ぜひ参加したい…………… 9名
- 2 どちらかというに参加したい…………… 14名
- 3 どちらかというに参加したくない…………… 1名
- 4 参加したくない…………… 0名
- 無回答…………… 1名

(質問 10-1) これまでに「住民懇談会」などの市が主催する集まりに参加したことはありますか。

- 1 ある…………… 5名
- 2 ない…………… 19名
- 無回答…………… 1名

(質問 10-2) 市民討議会にかぎらず、このような市民参加型の事業にまた参加したいですか。

1 参加したい……………	8名
2 都合が付けば参加したい……………	16名
3 参加したくない……………	0名
無回答……………	1名

(質問 11) 実際に市民討議会に参加されてみて、どうでしたか？なんでも結構ですので感想をお書きください。

- ・思ったより若い人もいていいと思った。
- ・世代によっていろんな意見を聞くことができたが、10代、20代は遠慮していた。
- ・楽しかったです。
- ・思った以上に真剣に真面目にやってたので少々びっくりした。
- ・いろんな世代の人と話しができて楽しかったです。
- ・良かったと思う。
- ・知らないグループの方たちで緊張しましたが、最後は仲良くなり楽しい時間を過ごすことができました。
- ・有意義であった。この討議会自体が世代間の交流だと思う。市政に役立つことを祈る。
- ・幅広い世代の人達と話しができて良かった。
- ・自分でアイデアが出るか不安だったが、意外と何とかなった。他の方々のアイデアも納得させられたり興味深いもので楽しかった。
- ・世代を超えた人々の話しが聞け良かった。
- ・いろんな方の声が聞けて貴重だった。楽しかった。
- ・皆様それぞれにみなさん意見を持たれていて、地域をよくしたい思いが伝わった。
- ・若い人と、知らない人と交流できて良。

- 準備されたスタッフの気配り、心配りを感じた。
- 初めて参加したがとても有意義な時間だった。
- 楽しい時間でした。
- みなさんと話が出来てよかったです。
- また参加したいと思います。

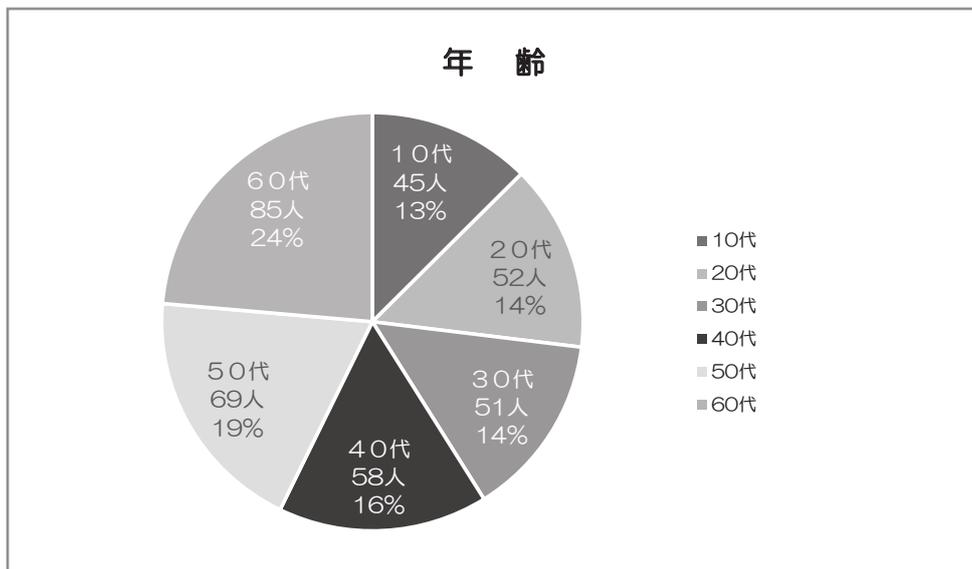
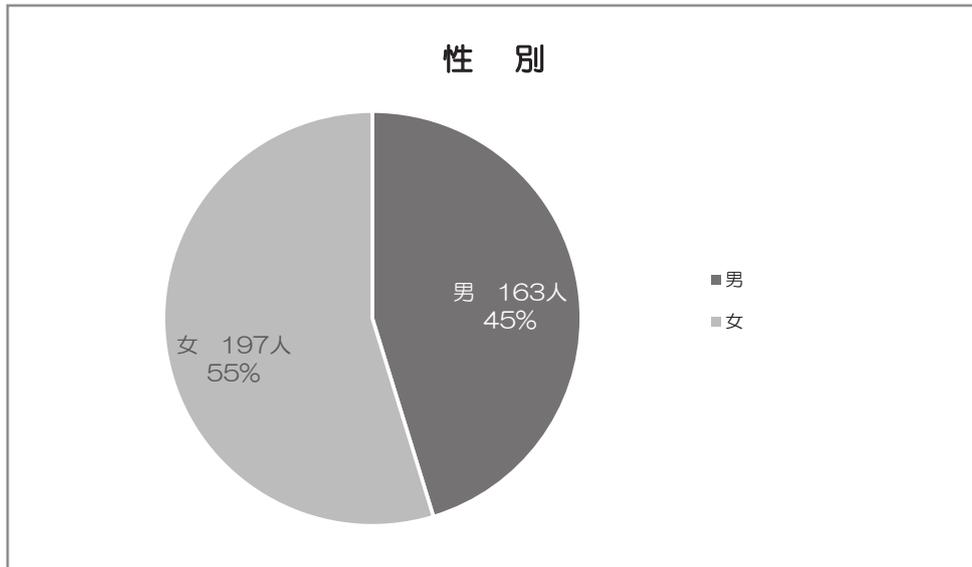
その他、今回の市民討議会に対するご意見やご要望がございましたら、以下にお書き下さい。

- やる時期を限定しない方が意見は広がると思う。
- 参加してよかったと思う。いいイベントになることを期待しています。ありがとうございました。
- 実際に事業が開催されることを願います。
- もっと多く行って下さい。
- 世代間交流というテーマが大きすぎたかな？単純に盛りあがるイベントや企画を…とした方が考えやすかった。11月限定は、考えづらい。
- 話を聞くだけの講演等と違い楽しめたし又参加したいです。

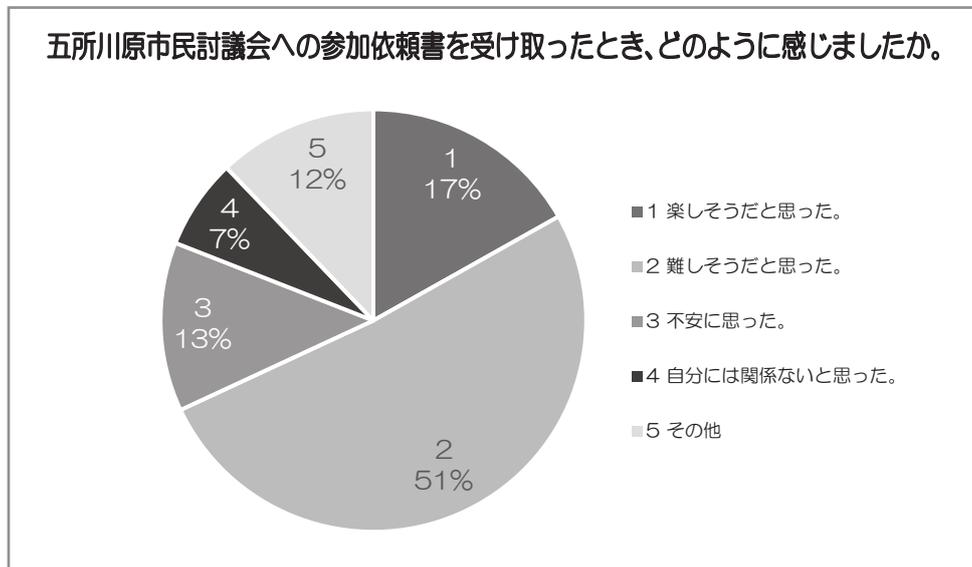
ご参加いただけない方へ対するアンケート結果

360人回答／1,500人発送に対して

1 あなた自身について



2 五所川原市民討議会への参加依頼書を受け取ったとき、どのように感じましたか。



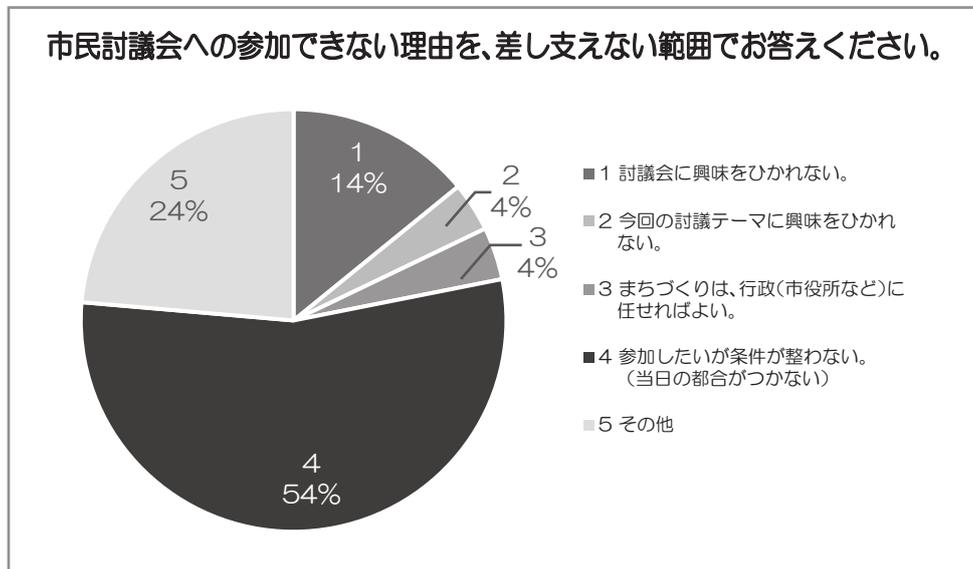
その他の意見

- 参加してみたいと思った。
- びっくりはした。参加する前に覗いてみたいと思いました。
- 参加しても意見が通らないと思った。
- 参加出来なくて残念。次回参加してみたい。
- 参加しても、最終的にはすみやかに役所間で決まったというのがあるので、意味があるのかな？
- 体調不良。
- 仕事と時間が重なる。
- 無理だと思った。
- 興味を持った。
- 役に立てるかな。予定はどうか。
- 何も思わなかった。
- いい事だと思いました。
- 興味がわいた。
- 無意味だと思った。
- なにごと？
- 時間が取れない。
- 何も感じない。
- 大変良い事だと思います。
- 本人不在の為。
- 人前で話すのがにがて。
- どうして私なの？
- びっくりしました。

- 元々五所川原で育っていないため。
- 諸事情で無理だと思った。
- 自分には到底無理だと思った。
- 募集人数が少なく責任が重い。（一人当りの）
- 参加できない。

3 市民討議会への参加できない理由を、差し支えない範囲でお答えください。

（複数回答可）



その他の意見

- 学生であり、県外にいるため。
- 普段通りの仕事なので参加出来ません。
- 披露宴・挙式のため。
- 五所川原も広い。私のいる市浦と市内とでは温度差がある。
- 市外に転出予定。
- 参加したいと思いますが無理。現実には高齢者世帯で時間をとれない。また、謝礼だけでは赤字になる。気持ちとお金は別問題。
- 仕事。
- 重度の知的障害があるために参加させたくても出来ない。
- 似た様な討議に参加した事があり、意見を少しでも取り入れするのかな？どうせ、行政で決めるんでしょ！
- 子ども（小2・小4）の預け先がない。
- 農家のため。
- 出張で参加できない。

- 人と話しができない。(人見知り)
- 公の場で目立つのは苦手です。
- 体調があまり良くないので。
- 実習のため都合がつかない。
- 人見知りなので不安。若くない。
- テーマが大きすぎて、難しそう…。
- 病人がいるので都合がつかません。
- 結婚式出席のため。
- 足がない(車)
- 学校の用事。
- 時間が合わないのでは。
- 人がたくさん集まる場所は苦手。怖い。
- 産後で子供と外出するのが難しい為。
- 当日、五所川原市にいないため。
- りんご農家で忙しい。
- 参加しても、世の中が変わらないから。
- 車の運転ができない。免許なし。
- 趣旨に賛同できない。他の事に予算を使って下さい。
- あがり症なので、人前で発言する事がにがて！
- 自分が行っても役に立ちそうにないと思ったから。
- そういった場が苦手だから。
- 5月末転出、五所川原市民でなくなった。
- 本人が重度の障害があるため。
仕事の都合がつかないため参加できません。休日になったとしても病人介護が必
- 要なため参加できません。
- 自分に向いていない。
- 上記、責任が大きく、重圧になる。
- 知的障害の為参加できない。
- 今は、まだ、気持ちの余裕がないのと時間がない。
- 会議のため。
- 「子どもからお年寄りまで」テーマが広すぎる。
- 若い人の意見を引き込むべき。

4 市民討議会へのご意見等がありましたらご記入してください。

- 土日でも仕事がある為、何日か候補日を設定し選んでもらい、その上で討議会の日時決定は無理なのでしょうか？
- 1人での参加に不安を感じます。友人とかで参加できればいいなと思います。
- 討議会の内容を少しでも市政に活かして行けるような取り組みをお願いします。
- 討議会で出た意見は、その後どのように市のために活かされているのか？これまでは？（結果報告）私的には、たちねぶたの館のまわり、街なみを整備してほしい。たとえば、レンガの壁で統一した建物にするとか、決めればいいのかと思う。観光客ももっとくるのに。
- 市民皆からの意見を聞くのは、すごくいい事だと思いました。
- 市民の声を活かして地域活性化になるといいなあと考えています。子どもからお年寄りまで暮らしやすい市になってほしい。
- 五所川原市民になったばかりですが、今回の討議がどのような感じだったか、広報等でみれたらいいなと思っております。
- 市内のことだけでなく市浦とか飛び地の事も考えてほしい。今、高齢者とともに生活していくには本当にきびしい。高齢者が安心して生活出来る所、施設、人材をもっとしっかりしてほしい。
- 大学の先生が中心になると先生の考えが中心になり、自分達の意見が取り上げられることが今までになかったので本当に参加する意味があるのか不安です。
- 子供を育てている母ですが、近隣の市では、医療費無料になっていたりします。やっぱり子供が小さいうちはいつも病院にかかったりと医療費はけっこうかかります。もちろん高齢の方も病院に行く回数が多いと思います。無料まではしなくてもせめて、1割などもう少し医療費が免除になればと思います。
五所川原の魅力は？ときかかれても、ふっと思い浮かびません。ネプタくらいしか。
- 五所川原市への観光客がもっと増えるようになればいいなあと 생각합니다。宿泊する所が、もっとあればと思います。
- 未来のために若い人の意見を取り入れて下さい。
- 今回の市民討議会の結果は、年度内の事業化を行うということなので、期待しております。若者がいきいきとした五所川原市になってもらいたい。若者の仕事を増やし（仕事を広い分野で作る。）若者の活性化。若者向けのイベント（公共のハコ物を活用案）
確かに超高齢化は、さけて通れない所。でも今現在は少し充分にしておいて（高齢者には申し訳ないが）これからは子供から若者を大事に考え、検討して頂きたい。少子化と人口減少だからです。期待しております。

- 52年間東京で生まれ育ち主人が4年前に医療関係の仕事をはじめた為に、慣れない青森にきて不便を痛感しました。スタッフを採用したくても集まらず、車を運転しない私には冬の季節は歩道も歩けず（除雪の雪で道がふさがれ）駅前も静まり返っていて高齢社会、人口減少、大きな問題であると感じています。下水管も通っていない事も驚き、信号機の下には交差点の名前もなく道も覚えられない。配達の人はどうやって届けているのか？立ちねぶたの時期だけ人口が増えてもホテルの数も少ない。事業を始めても求人確保もできない。五所川原市、青森県にもう少し専門的な大学や専門学校を増やし、地元の若い人の働く場所があるので地元に残り働いてほしい。

代々東京で生まれ育って病院もたくさんあって、自分に合う病院を探せたが五所川原市で探すのは難しい。大きな病院があっても機械が良い物であっても使いこなせていない。もっと他を見てきてまねてみると良いと思う。医師の確保、やはり青森に専門学校を増やすべき。五所川原市にあつたらもっと良いと思う。話したいことはたくさんあります。機械があれば、今回は参加したい。

- 今まで「市民討議会」というものの存在自体を知らなかった。この封書が来て初めて知った。自分達の市を良くするのに、自分達の意見を表す機会があるのは良いことだと思う。ただ、1時間30分の討議会に対しての謝礼が3000円というのは少し高いように思う。自分達の市を自分達で良くするために集まろうというのなら、もう少し小額でもよいのではないだろうか？その点については、そういう意見の者もいるということをご考慮いただきたい。
- また選んで下さい！
- 60才代後半の身である私にとっては、難しい感じ。十分な意見交換が出来ないと思い不参加としますが、短命県返上と世代を超えた交流には関心あり、討議会の成功をお祈りし、また応援しています。
- 五所川原市にみちの駅を作って、誰でも休憩出来る場所が必要だと思います。今は、行政が成り立つ市にしか見えません。市民が無料で、学ぶ、遊ぶ、話せる場所を作って下さい。若い人が働く場がなく、高齢者は、行く場所を失っている市を、元気にしたいならば、今住んでいる人達で何が出来るかを話し合ってください。提案して、実行してほしいです。蛍の育成もいいですね。がんばって下さい。五所川原市が大好きです。
- 世代間といっても親族でもない方との交流はなかなか難しいと思います。まずは親子三世代がちゃんと、地域に住み続けられる市であることが大切だと思います。
- 広く市民の声を聞くことはとても意義深いと思います。
 - ・ 出された意見や提案をどれだけ実施に移せるか。五所川原市をよりよくするため、市民の目に見えるような取り組みを期待します。
- 討議会の結果の公表をして欲しい。参加は出来なくとも、どのような意見が出たのか気になるし、その意見についてどう思うかも考える事が出来る。

- ・参加してみたかったです、都合が合わず残念です。市民討議会は、自分の暮らしている市について、あらためて深く考えることになり、普段、交流することのない方々と話すことのできるきっかけにもなると思うので、ぜひ続けていってほしいです。
- ・封筒が届いたのが6月14日で提出が6月20日までとのことでしたので、もう少し早くお知らせが来てもよかったなと思いました。
- ・話し合いによって、幅広い意見が出て少しでも五所川原市が良くなる事を願っています。
- ・「子どもからお年寄りまで生き活きと暮らせる」とのテーマなので、子どもとお年寄りが合流というか一緒にできる施設や会合など賛同できたら良いと思う。
(討議会にも参加できるようにしたら?)
- ・もう少し参加定員が多くてもいいと思う。
- ・これからの町づくりとして活気ある五所川原を期待します。青年会議所の皆さんをはじめ、大変かとは思いますががんばって下さい。
- ・今回は都合がつかず出席できませんが、またこよう場がありましたら出席して見たいです。
- ・この種の討議会は見栄えは良いが、税金の無駄使いにならないか心配している。五所川原市は国保などの税金が高いのでむしろそちらの方の税金を下げて欲しい。アベノミクスは地方には届いていないのだから…。
- ・子どもの保育料を無料にしたり中学卒業まで医療費を無料などにしてほしい。
- ・市自体は住みやすいですが、そういう面が充実していないので、とても住みにくい。というか引越したい。そして、子どもを(1人目以降)産むのにためらってしまう。
- ・参加できる状況であれば参加したかった。本当に残念です。でもこれのおかげで、五所川原市民討議会の事を知って良かったです。
- ・住みやすい市であってほしいと思います。
- ・五所川原の未来に向けて前向きに行動している事がすごくうれしいです。頑張ってください!!
- ・市民が使える総合スポーツ施設があればと思う。(プールなど老人でも使用出来、安価な料金で行える等)
- ・市民討議会は多にに興味があります。自分も、自治労で何回か経験があります。内容は違いますが、多種多彩に意見を出し合う事は良い事だと思います。
- ・五所川原市を良くするために、討議会で出た意見を吟味し、市民の目線での意義を有効的に活用していただきたいと思います。
- ・市民討議会は今年で5回目とありましたが5回も開催されているとは知りませんでした。もっと広告したほうがより多くの市民に関心を持ってもらえると思います。

- 自分達（子供、孫）との生活を安定させる事に一生懸命で、他人の事を考える余裕がない。全ての市民が安定した生活が出来ていると、交流も持てると思う。
- 行政に全く期待する所が無いし、お金を出してまで討議した所で何かが変わると思えない。何事でも自分の身に起こらないと物事を考える事がないので、あまり意味がないと思う。
- 関東の大学へ行っているため参加出来ないが、企画を聞いてとても良い取り組みだと思った。
- 五所川原市と金木町は隣接しているが市浦地区に関しては飛び地合併のため孤立状態にあります。その地区をどう活かせばいいのか考えてほしいと思います。（福祉や育児、教育などについても）
- 次世代への積極的な参画を期待します！
- 参加した事がないのでわからない。
- インターネットで討議内容について見られるのはとても良いと思います。可能であれば討議中の写真も見られると雰囲気伝わり参加しやすくなるかと思いました。
- 五所川原市が市民にとって安心、安全で住みやすい市になるようこういう機会があってよいと思います。（1人1人の声が生かされる）
- ここで出された意見が活用されるように思えない。もっと別のことにお金を使ってほしい。
- 今回は参加できないが良い取り組みだと思う。子どもたちのために良い市政を。
- ・どの年代の人達も楽しく過ごせる五所川原市になるような良い案が出ることを願っています。
 - ・市民のみんなが楽しく過ごせる施設がもっとあるといいかと思います。
- 市民討議会は良い事だと思います。未来のある方はどんどん参加してほしいです。
- 今度機会がありましたら参加して見たいと思います。私の住んでいる若葉の住宅はお年寄りが多く、一人暮らしも多いので何かあった時の連絡方法、災害にあった時にスムーズな行動が出来るように今から訓練の仕方考えた方がいいのでは？子供達も大分少なくなり、遊ぶ場所もなくなり、家でゲームばかりしている見たいです。
- 企画運営、お疲れ様です。
- いろいろな世代からの意見をまとめて、五所川原市が発展していく為に、頑張っておられるんだなと感じました。今や五所川原といたら『立佞武多』になってしまいましたが、青年会議所の皆さんが、昔から頑張っておられる『虫まつり』も私は好きです。（旧五所川原も金木も市浦も一体となれると思うんですけどね。）
- 68歳になります。理論より感情しか思い浮かばない年齢になったと感じられ出席に無理が…。

- 「子どもからお年寄りまで～」をテーマに掲げているのでしたら、是非医療施設の充実と医師・看護師の質の向上を懇願します。特に、質の向上です。某総合病院の対応については、近年怒りと不信感の連続です。子どもたちにキャリア教育として、職業観や勤労観を育む立場にいる一人として、そして、市民の一人として憤りを感じます。私たちは、子どもたちに働くということは、誰かに喜んでもらうためにする社会貢献だと語ってきました。某総合病院には、それが、微塵も感じられません。子どもたちに愛や目標をもたせることができるよう、大人として職業人として、誇りと信念をもち、誠意ある対応をしてほしいと思います。当会で是非取り上げていただき、市長まで届けてほしいと思い書かせていただきました。また本会に限らず、早急に改善を図ってほしいと切に願います。人の生命に関わることなのでありますから。
- 五所川原市は働く場所が少なく、働きにくいと思う。
- 市長も参加したら？
- 若い人達が先人を切って魅力ある町造りを！！
- 上記の通り、申し訳ございませんが今回は欠席させて戴きます。
- この討議会の結果が、市政に反映されるのだろうか…。
- 市民に幅広く意見を聞き、話し合う機会があるのはとても有意義なことと思います。
- 参加したかったですけど都合がつかず残念です。
- 当日の都合がつかない場合、知人や家族の参加ではどうなのでしょう？又、一人では不安なので、知人、家族など、二人以上の参加ではどうか？
- 大学（栃木県）のため帰省できず参加できません。大変申し訳ございません。
- 若い夫婦が地元で働き住みつけるような地域になれば、お年寄りにもっと安心した暮らしができるのではと思っております。
- とても良い取り組みだと思います。定期的な会にすることで、幅広い層からの意見を集められるのではと思います。住み良い五所川原になるように、期待しています。頑張ってください。
- 討議会は、一部の方だけのものとなっている気がします。（時代の流れかもしれませんが）こういったアンケート参加の案内を郵便物で送付することより、若い人が興味をもてるような広報活動が必要と感じます。（難しいと思いますが）
- 本人が話せる人だったら、福祉政策の事で言いたいことが沢山あると思います。ぜひ参加された方の少数意見もくんでいただきたいです。
- ゴミの分別に苦勞しています。（特にもえないゴミ）
- 若い世代が活躍でき、定住する魅力ある街づくりを望みます。
- 100名程度の参加者で挙手にて自由に意見が言えるような会なら参加を考えます。
- 他の市町村では中学校まで医療費が無償という制度があり、五所川原市でも取り
- 入れてはどうでしょうか…。それぞれの財政の事情があるかと思われそうですが…。

- 市民の意見が反映される明るい街づくりになりそうで大変よいアイデアだと思います。政治と金、政治と土建など、マイナスのイメージがなくなるとよいと考えます。討議内容が議会へ反映されて欲しいな？
- 子供から、お年寄りまででなく、障害を持った方も含め、お互いに暮らしやすい五所川原市になればと思います。いつも障害者が外されていると感じています。
- 肩に力を入れないで進行出来るようにして下さい。参加者の意見には、ケチをつけないようにお願いします。継続して行けば良い案が出て来ると思います。
- 若年層にも興味が出そうなイベント（五所川原を回る謎解きゲーム等）を考えてみてはどうでしょう。
- 五所川原市は憩いの場所が少ないように思います。時に菊ヶ丘運動公園に散歩に出かけるので、色々な年齢層の方とコミュニケーションが取れますが…特に図書館がもう少し、居心地が良かったらと思います。陰気臭いような気がして残念に思います。
- 子供の医療費無料。（例えば中学校まで）

五所川原市だけでなく本県全体に言える事ではありますが、中央の有名大学を卒業した若者が県内で働ける環境が無く、そのまま中央大手企業に就職してしまうため、若者の県外流出は止まらない。本県だけでなく東北全般で起きている現象である。東北六県から役員が集まる会議で、ある県の進学校では近年、中央の有名大学に入れる学力のある生徒が減少してきていると、話していました。東京で働いている人の一例で、私が羽田空港で高速バスに乗ろうと列に並んでいる時、バスの入り口で乗車券チェックをしている係員が、突然通りかかった外国人から英語で話しかけられていましたが、その係員は躊躇無く英語でその外国人にバス乗り場等の説明をしていました。それを見た瞬間に英語を話せないと東京ではアルバイトすらできないなと感じました。本県の悪い事例として、北海道の拓殖銀行が幹部のずさんな経営から銀行が倒産してしまいました。当時の新聞には本県では当時の行員を採用する金融機関が無いと書かれていました。なぜなら拓殖銀行の優秀な行員を採用することにより自分たちの立場が危うくなる事を嫌ったからだ、たしか書かれてあったと記憶しています。自分が努力せず他人をねたんだり、受け入れなかつたりする意識が多々あると思います。本県の良い事例として、青森県立病院では、県外の医大卒業の医師を採用すると発表しました。医師の確保と同時に県病に新しい風を吹き込むためではないかと思われ、意識改革の良い例だと思います。まずは第一段階として若者が増えることにより五所川原市の活性化（住民税の増、購買力の増加等々）が生まれるのではないかと思います。どうしたら、中央の大学を卒業した若者（本県出身者だけでなく）でも働ける企業の誘致（コンピュータプログラムや研究開発企業等）ができるのかと、時間はかかりますが将来の五所川原市を背負って立つ若者を育てるために、どうしたら教育にもっとお金をかけることができるのかを討議の一部として加えていただければ幸いです。

市民協働によるまちづくりへ 市民討議会で10～60代の世代を超えた討議を行う

7月23日、市民学習情報センターで市民討議会が開催されました。市民討議会は、市民協働によるまちづくりを推進するため平成24年度から公益社団法人五所川原青年会議所と市の協働で実施しており、今年で5回目。無作為に抽出した1,500名の市民へ参加案内書を送付し、参加を希望した市民から抽選で決定した28名が「子どもからお年寄りまで生き活きと暮らせる五所川原を考えよう！～世代を超えた絆を深めるために～」をテーマに意見を出し合いました。



意見を出し合う参加者の皆さん。
自分達が参加したくなるような世代を超えた
交流方法の意見を出し合っています。

人口減少が進む中で、今後のより良い地域づくりのために、世代を超えて交流し、地域全体で互いに支え合うことの大切さについての説明を受け、討議がスタート。5つのグループに分かれ、①世代を超えて聞いてみたいこと、教えたことは何か？②討議①のアイデアを基に幅広い世代が世代を超えて一緒に交流できることは何か？③討議②を実現するために企画を考える、という3段階で討議を行いました。さまざまな立場から参加者が普段感じていることについて議論し、最後にグループごとに討議結果を発表しました(概要は下表参照)。

討議会全体のコーディネーターを務めた弘前大学大学院地域社会研究科の平井太郎准教授は「難しいテーマだったが、活発に意見を出し合い、まとめられた意見はどれも創意的なものになった。他地域の討議会に比べて10代の参加者が多く、この機会自体が世代間交流になっていた。全グループを通して食文化についての意見が出ていたが、世代を超えて共通しているものであり、中でも郷土料理の継承は大切なもので、是非これをきっかけに世代間交流の輪を拡大して欲しい」と総括しました。

発表内容の概要

かまくらスタンプラリー

市内各所にかまくらを作り、そこに隠されたナゾを解きながらゴールを目指す。ゴール後には温かい料理を皆で囲み、交流する。かまくらでのクイズは各世代が協力しながら解けるものにし、交流を行う。

津軽のかまりっこ

山菜と一緒に取りに行き、料理体験を行う。津軽弁を交えながら、郷土料理を食べることによって五所川原にしかない「味」と「香り」を感じ、郷土の大切さを認識する。

スイーツバル

全世代が共通で楽しめるスイーツ巡りを行う。五所川原市内周辺を街歩きすることによって、地元の店の大切さや地元資源の発掘を行う。津軽鉄道にも協力を仰ぎ、金木方面も含めた広範囲のバルを行う。

ごしょがわらでGO

立佞武多の雛子、郷土料理体験、津軽弁講座、立佞武多の館の見学をとおして、世代間交流を行う。五所川原市の魅力を知る体験メニューを行うことによって、郷土への関心と愛着が生まれる。

みんなで「山採」GO!!

山菜採りを行い、その素材を使って料理教室を行う。山菜採りでは、採り方や旬な食材を上世代が教える立場、料理教室では下の世代が流行の料理を教える立場となり、相互の教え合いによる交流促進を目指す。

討議結果は、報告書としてとりまとめ、後日市へ提出します。

参加した皆さんから出されたまちづくりに対するアイデアは、青年会議所をはじめ市民有志の方々によって11月に事業化される予定となっています。

講師(コーディネーター)プロフィール

氏名 (フリガナ)	平井 太郎 ヒライタロウ	
生年月日(年齢)	昭和 51年 5月14日 (40歳)	
勤務先	弘前大学大学院地域社会研究科	
家族	妻	
住所	〒036-8184 青森県弘前市松森町141 A-201	
TEL・FAX email	TEL 090-4415-3537 (勤務先) FAX 0172-39-3210 メールアドレス: of-hirai@nifty.com	
専門など	社会学	
経歴・職歴	西暦	
	2000年	東京大学教養学部教養学科卒業
	2003年	特定非営利活動法人 小田原まちづくり応援団 副理事長(現職)
	2008年	東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、博士(学術)取得 日本女子大学人間社会学部学術研究員
	2010年	小田原市・国見町 歴史まちづくり協議会 委員(現職)
	2012年	弘前大学大学院地域社会研究科 准教授(現職)
	2012年	総務省地域力創造アドバイザー(現職)
	2012年	国土交通省集落地域における小さな拠点形成推進に関する検討会委員(現職)
	2012年	青森県つがる西北五活性化協議会委員(現職)

平成28年度五所川原市民討議会 報告書

編集 平成28年度五所川原市民討議会実行委員会